

	現況整理		町民意向調査		課題整理	
	都市計画上の現況	住民向けアンケート調査	グループインタビュー 子育て世代ヒアリング 大学生・まちづくり株式会社	町民意向	現行計画での課題	課題（見直し案）
土地利用 全般	<p>◎本町市街地と太美市街地には用途地域が指定され、建物の用途等について規制・誘導されており、計画的な人口の集積を図っている。</p> <p>◎市街地の周辺は、農業を振興する地域として農業地域に指定されている。</p> <p>◎町の大部分が農地や森林で占めている。</p> <p>◎一部地域を除き、農業地域と森林地域では建物用途についての法的規制が弱い。</p> <p>◎市街地の一部は区画道路や下水道などの都市基盤が未整備の地区がある。</p> <p>◎小規模な空き地や空き家や未分譲宅地がある。</p>	<p>●都市機能の集積 (満足度が下回る項目) (重要度が高い項目) ・駅周辺に公共施設や商業施設など利便性の高い施設があること。</p> <p>●コンパクトな市街地の形成 (満足度が下回る項目) (重要度が高い項目) ・徒歩や交通機関を利用して生活できる、コンパクトな市街地が形成されている。</p> <p>→駅周辺に公共施設や商業施設などの利便性の高い施設が必要。 →歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを形成する必要がある。</p>	<p>●コンパクトシティの実現 ・高齢者が増加していくことを考えると、コンパクトシティの実現が必要なのではないか。</p> <p>●商業施設の充実 ・日用品の購入は町内でできるが、衣料品、靴等は町外までいかなければならない。</p> <p>・スーパーが2か所しかなくて不便。 ・大型スーパーなどがあるとよい。</p> <p>●飲食店の充実 ・家族で行ける飲食店が少ない。</p> <p>●商業施設の充実 ・ショッピングモールや大規模なスーパーがほしい。</p> <p>・現商店街をどうしていくのか。空き店舗のままにせず、空いたら次に入って商売をする人に来てもらえるようにすることが大切。 ・学生から、駅近くに商業施設がほしいという声は多い。</p>	<p>◎住宅地、商業地、業務地など適切に配置し、駅を中心として歩いて暮らせる住宅地にしてほしい。</p> <p>◎住民の生活に基づいたコンパクトで持続可能なまちづくりをしてほしい。</p>	<p>・本町地域、西部地域は無秩序な市街地の拡大を防ぎ、コンパクトな市街地の形成を進めるため市街地外の建物規制強化を図る必要がある。</p> <p>・市街地内は、住宅地、商業業務地、工業流通地などを適正に配置し、機能的で効率的な都市づくりを進める必要がある。</p>	<p>◎用途地域と農業地域に指定され、規制・誘導が進められているものの、市街地の明確な輪郭がないため、市街地が無秩序に拡大する懸念がある。</p> <p>◎農業地域や森林地域では法的規制が弱い箇所では、地域に好ましくない建物が立地する懸念がある。</p> <p>◎コンパクトで利便性の高い機能的で効率的な都市づくりが必要であり、2つの市街地を中心に都市機能や居住の誘導・集積する必要がある。</p> <p>◎駅周辺の低未利用地や空き地を活用した利便性の高い土地利用が必要。</p> <p>◎市街地内は、住宅地、商業業務地、工業流通地などを適正に配置し、機能的で効率的な都市づくりを進める必要がある。</p>
住居系	<p>◎本町地域の中心部では人口が大幅に減少している。</p> <p>◎近自然型住宅地として、スウェーデンヒルズやみどり野、優良田園住宅地が整備されている。特にスウェーデンヒルズは建築協定により街なみが統一され、良好な住環境が形成されている。</p> <p>◎市街地外では、旧学校などを中心として農業集落が形成されている。</p> <p>◎開発行為によって宅地造成された住宅地では未利用地が残されている。</p> <p>◎北海道医療大学生数は約3,500人で、4人に1人は町内居住（町民の5%）</p> <p>◎大都市近郊で緑豊かなゆとりある宅地を提供できる。</p>	<p>●良好な戸建て住宅地 (満足度が高い項目) (重要度が高い項目) ・戸建て住宅の良好な居住環境がある。</p> <p>・「生活に便利なマンション等の集合住宅が増え、コンパクトな居住環境がある」の不満足度（36.0%）が満足度を上回り、重要度は36.4%。</p> <p>・戸建て住宅の良好な居住環境がある」の満足度（50.7%）が不満足度を上回り、重要度は66.5%。</p> <p>→商業業務施設などと複合化した集合住宅などが必要。 →都市近郊で緑豊かな自然環境のなかで生活できることに満足している。</p>	<p>●空き家・空き店舗の活用 ・当別町版の空き家、空き店舗バンクがあると便利である。</p>	<p>◎緑が豊かな森の中の低層住宅で、花や木による庭づくりをしながら、静かで落ち着いた暮らしができる住宅地になりたい。</p> <p>◎農村風景の中で進歩的な生活ができ、住み良い住宅地で発展的な田舎暮らしがしたい。</p> <p>◎商業業務施設などと複合化した集合住宅などを整備してほしい。</p>	<p>・都市基盤施設の整備に合わせた宅地化を図るなど計画的な都市づくりを進め、未利用地の解消を進める必要がある。</p> <p>・花の活用など当別町らしいゆとりを追求し、市街地の魅力を高めることで近隣市町との差別化を図るなど、町外から人が移り住み、住み続ける都市づくりを進める必要がある。</p> <p>・本町地域の中心部においては、地区の持つ利便性を生かし、生活環境の向上に合わせて集合住宅を供給するなど、定住人口の増加対策が必要である。</p> <p>・市街地外の農業集落における住環境整備や、コミュニティ空間の創出が必要である。</p> <p>・スウェーデンヒルズやみどり野などの近自然型住宅地については、現在の景観や住環境を保全するための対策が必要である。</p> <p>・豊かな自然の中で暮らすことを望む需要に対応した住宅地供給が必要である。</p>	<p>◎大幅な人口の減少により、中心市街地の空洞化、衰退が懸念される。</p> <p>◎スウェーデンヒルズやみどり野といった近自然型住宅地は住環境を阻害する建築物が立地する懸念がある。</p> <p>◎未利用地や空き家等の解消を図る必要がある。</p> <p>◎豊かな自然環境を活用して、住宅市街地の魅力を高める必要がある。</p> <p>◎農業集落では担い手不足や生産者の高齢化や人口の減少による、地域コミュニティの衰退が懸念される。</p> <p>◎多様化する住宅ニーズに対応した住環境の供給が必要。</p> <p>◎北海道医療大学生が町内で居住するための環境の確保が必要。</p> <p>◎子育て世帯の住環境の確保が必要。</p>
商業系	<p>◎石狩当別駅の南側に小売店舗、飲食店舗、業務施設が立地し、商業業務地が形成されている。しかし、購買力の町外流出が進んでおり、賑わいが低い。</p> <p>◎城下町らしい細く、曲がった道路は北海道では珍しく、また市街地内を小河川が流れている。</p> <p>◎石狩太美駅の北側に小売店舗、飲食店舗が立地しているが、規模が小さく、近隣商業地としての性格が強い。</p>	<p>●商業施設の充実 (満足度が下回る項目) (重要度が高い項目) ・人の集まる賑わいのある商店街があること（最も低い。）</p> <p>・駅周辺に公共施設や商業施設など利便性の高い施設があること。</p> <p>●商業・娯楽施設の充実 (課題) ・買い物や娯楽の場の充実。</p> <p>●国道沿道への立地 (施設の立地場所) ・商業施設は他の施設に比べ、国道沿線にあること。 →花や歴史などの当別町の特徴を生かした賑わいのある商店街が必要。 →買い物や娯楽施設の充実が必要。</p>	<p>●既存店舗への支援 ・修繕等の既存店舗に対する支援が必要である。</p> <p>●店舗の起業 ・減少傾向にある料飲店の創業に力を入れていきたい。</p> <p>●商業施設の充実 ・日用品の購入はアークス、ラルズ、サツドラ、ツルハがあるが衣料品、靴等は町外までいかなければならない。</p> <p>・スーパーが2か所しかなくて不便。 ・スーパー（ビック・トライアル）などがあるとよい。</p> <p>●飲食店の充実 ・家族で行ける飲食店が少ない。</p> <p>●商業施設の充実 ・1箇所でもそろそろようなイオンのような、大規模なスーパーがほしい。</p> <p>・現商店街をどうしていくのか。空き店舗のままにせず、空いたら次に入って商売をする人に来てもらえるようにすることが大切。 ・学生から、駅近くに商業施設がほしいという声は多い。</p>	<p>◎町内の歩いて行ける場所で買い物ができるように、都市基盤施設の整備を推進してほしい。</p> <p>◎お店の個性化や緑・光による演出、レンガ倉庫の活用、文化機能の導入など、人が集まるにぎやかな商店街にしてほしい。</p> <p>◎企業が進出するメリットを感じられるような環境づくりに取り組み、雇用の場となる優良企業を誘致してほしい。</p>	<p>・楽しく買い物ができる商店街整備や再開発などにより、人の集まるにぎやかな商業地の形成が必要である。</p> <p>・日常生活に必要な物が手に入る、利便性の高い商店街づくりを進める必要がある。</p> <p>・花や川を生かし、城下町の面影を残しながら、町内外の消費者にアピールできる個性的な商店街の整備が必要である。</p> <p>・地場産業の育成や企業の誘致により町内に職場を確保するとともに、緑豊かな業務地を整備する必要がある。</p>	<p>◎町民の参加により商業地の緑化を進め、魅力を高めることが必要である。</p> <p>◎細く曲がりくねった道路やパンケチュウバシナイ川を生かし、個性的な商店街の形成が必要である。</p> <p>◎駅周辺に人の滞留・交流の場の創出が必要。</p> <p>◎歩いて楽しい個性的な商店街を形成し、賑わい創出が必要。</p>

	現況整理	町民意向調査			課題整理	
	都市計画上の現況	住民向けアンケート調査	グループインタビュー 子育て世代ヒアリング 大学生・まちづくり株式会社	町民意向	現行計画での課題	課題（見直し案）
工業系	<p>◎石狩湾新港と新千歳空港を連絡する国道337号（道央圏連絡道路）が整備中である。</p> <p>◎国道275号沿道では工業流通施設と住宅が混在する地区がある。</p> <p>◎産業の売上金額の伸びに対し雇用が減少している。</p>	<p>●地域産業の活性化（満足度が下回る項目）（重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の育成や企業の誘致による地域産業が活性化されていること。 ・国道沿線への積極的な企業誘致と雇用の創出がされていること。 →企業誘致の推進や地域産業の活性化による雇用の創出が必要である。 	<p>●働く場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の働く場所（アルバイト、就職先）がない。 	<p>◎企業が進出するメリットを感じられるような環境づくりに取り組み、雇用の場となる優良企業を誘致してほしい（再掲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国道275号の沿道における住工混在を解消し、工業流通系への用途の純化が必要である。 ・札幌市、石狩湾新港への近接性、国道337号（道央圏連絡道路）、国道275号などを生かし、将来性のある企業の積極的な誘致と地元雇用の創出が必要である。 	<p>◎国道275号の沿道における住工混在を解消し、工業流通系への用途純化が必要。</p> <p>◎札幌市、石狩湾新港への近接性、国道337号（道央圏連絡道路）、国道275号などを生かして、企業誘致と地元雇用の創出が必要。</p>
新しい まちの顔	<p>◎平成29年「北欧の風 道の駅とうべつ」開業</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・「北欧の風 道の駅とうべつ」周辺では、交流人口の増加に対応した周辺の整備が必要。
農業系	<p>◎水田を中心とした優良農地が広がっており、近年は花卉、野菜など付加価値の高い高収益作物の生産が増加している。</p> <p>◎農業経営の逼迫により離農者が増えている。</p>	<p>●農林業の活性化（満足度が下回る項目）（重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業の担い手が育ち産業として活性化されている。 <p>●農村環境の保全（満足度が上回る項目）（重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな農村環境や森林、河川などの自然環境が保全されている。 →都市と農村の交流を図る体験農園等の推進が必要。 	<p>●農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による担い手不足や人手が不足しているため、新規就農者への支援が必要である。 ・米の需要が高く、水田を水田として利用したい。 ・土地改良の助成が乏しいため、助成を強化し農地の基盤整備が必要である。 	<p>◎生産者と商業者が協力しあい、新鮮な食料を供給するとともに、農業生産法人による付加価値の高い農業を展開し、田園都市として農業の活性化を進めてほしい。</p> <p>◎農地を有効利用した体験農園により農業を体験させ、田園に暮らす良さを感じられるまちにするとともに、町外の人と交流したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の無秩序な拡大を防止し、優良農地の保全を図る必要がある。 ・離農による家屋や農地の荒廃を防止するため、跡地利用の検討が必要である。 ・農地を活用した体験型農園や観光型農園による都市と農村の交流や地域活性化が必要である。 	<p>◎優良農地の保全を図る必要がある。</p> <p>◎農地を活用した体験型農園や観光型農園による都市と農村の交流が必要である。</p> <p>◎農業集落のコミュニティの維持及び周辺環境の整備が必要。</p>
自動車	<p>◎国道275号により道北圏と連絡している。また国道337号（道央圏連絡道路）が整備中である。</p> <p>◎道道札幌当別線、道道岩見沢石狩線等により隣接市町村と連絡している。</p> <p>◎都市計画道路として本町地域に12路線約22kmが計画決定されており、5割弱が供用されている。</p> <p>◎市街地内には、老朽化した道路幅員が狭い道路や行き止まり、凸凹道路等が散見される。</p>	<p>●道路・歩道の整備（満足度が下回る項目）（重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内を快適、安全に移動できる道路・歩道の整備がされていること。 <p>●広域交通ネットワーク（満足度が高い項目）（重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間及び周辺市町村を結ぶ幹線道路整備がされていること。 →季節を問わない安全な道路整備が必要。 		<p>◎道路の拡幅や補修、防風林の造林や除雪による雪対策、幹線道路のバリアフリー化、渋滞対策などにより、季節を問わず安全な道路を整備してほしい。</p> <p>◎市街地内区画道路の幅員確保や、行き止まり、凸凹等の解消を行ってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広域圏における交流の活性化を図るとともに、広域を移動する物流の円滑化を図るため、国道337号（道央圏連絡道路）などの広域幹線道路の早期整備を促進する必要がある。 ・広域幹線道路により町内各地域を円滑に連絡するとともに、市街地内の体系的な道路ネットワークの形成が必要である。 ・幅員の確保や行き止まり、凸凹等の解消など、市街地内区画道路の充実が必要である。 ・除雪の充実を図るとともに、道路防雪林や防雪柵の整備により道路交通の安全確保が必要である。 	<p>◎計画決定路線を市街地内の幹線道路として整備し、良好な道路ネットワークの形成を推進する必要がある。</p> <p>◎計画決定路線を幹線道路としての整備促進や近隣市町村との広域的な連絡性を図るため、広域幹線道路の早期整備を促進し、体系的な道路ネットワークの形成が必要である。</p> <p>◎老朽化や幅員が狭い道路や凸凹道路等の解消が必要。</p>
歩行者	<p>◎歩行者道路は3路線が整備されている。</p>	<p>●道路のバリアフリー化（満足度が下回る項目）（重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、交通機関についてバリアフリーの配慮がされている。 →バリアフリー化した歩行空間が必要。 →都市と農村の交流を図るサイクリングロード等の整備が必要。 	<p>●自転車通行空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車で通学する場合、歩道が狭く、危険。自転車のための道の整備を考えてはどうか。 <p>●サイクリングロードの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングロードの整備をしてはどうか。ロードレースをするところがあるとよいのでは。 	<p>◎歩道の拡幅や地域のバリアフリー化、車を通さない区間や時間の設定、遊歩道など安心して楽しく出歩けるまちにしてほしい。</p> <p>◎自転車で通学する場合、歩道が狭く、危険なため、自転車専用道路等の整備を考えてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の歩行者道路に加え、幹線道路の歩道、市街地内河川の沿線や緑道などの緑のネットワーク整備により、歩行者が安全に移動できる歩行者系道路ネットワークの形成が必要である。 	<p>◎幹線道路の歩道、市街地内の河川沿いや市街地外縁部における緑道等の整備により、歩行者が安全に移動できる歩行者・自転車道路のネットワークとあわせて、緑のネットワークを形成する必要がある。</p>

	現況整理	町民意向調査			課題整理	
	都市計画上の現況	住民向けアンケート調査	グループインタビュー 子育て世代ヒアリング 大学生・まちづくり株式会社	町民意向	現行計画での課題	課題（見直し案）
公共交通	<p>◎平成30年3月に持続可能な公共交通の実現を目指すため、新たに「当別町地域公共交通網形成計画」を策定した。</p> <p>◎町内にはJR札沼線（学園都市線）が3駅設置され、石狩当別駅の橋上駅舎や駅前広場、石狩太美駅の整備が完了している。</p> <p>◎R2年5月、JR学園都市線の一部が廃線となっている。</p>	<p>●バスの利便性 （満足度が下回る項目） （重要度が高い項目） ・バスの利便性がよいこと。</p> <p>●鉄道の利便性 （満足度が下回る項目） （重要度が高い項目） ・鉄道（JR）の利便性がよいこと。 （最も高い）</p> <p>●公共交通のバリアフリー化 （満足度が下回る項目） （重要度が高い項目） ・道路、交通機関についてバリアフリーの配慮がされている。</p> <p>●交通の利便性 （課題） ・交通の便のよさ。 →バスの利便性向上、公共交通のバリアフリー化が必要。</p>	<p>●公共交通の充実 ・子どもから高齢者まで、快適に移動することができるよう公共交通を充実させてほしい。</p> <p>●バスサービスの充実 ・朝込んでバスに乗れなかったり、待ち時間が長かったり、やむなくJRでの移動を選択することがある。</p> <p>●鉄道便数の充実 ・JRの本数が増えたり、札幌まで快速があると便利だと思う。</p> <p>●バスサービスの充実 ・バスの利便性が悪くほとんど使わない。車での移動となる。</p> <p>・西当別コミュニティセンターから本町方面、札幌あいの里に行けるバス停があるとよい。</p> <p>●公共交通の充実 ・町から外に出る交通手段が少ない。江別に行くのが不便。</p> <p>●バスサービスの充実 ・ふれあいバスは、利用する学生が多いが、混んでいて乗りにくいことがある。当別～大学のアクセスが良くなる（便が増える）と良い。</p> <p>・たまに利用する。もう少し本数がほしい。朝に混んでいることがある。</p> <p>・ふれあいバスの経路が長い。ショートカットできる道があるとよい。 （太美から通う人）。</p> <p>●鉄道サービスの充実 ・JRの便が増えたら良い。</p> <p>・交通機関の乗り継ぎの間の空き時間が長い。札幌～当別間の交通の時間を充実させ、札幌に出やすくすると住みやすいのでは。</p>	<p>◎駅や駅周辺のバリアフリー化を促進し、高齢者や障がい者に配慮した町内を移動しやすい交通網や町外と結ぶ交通網を便利にしてほしい。</p>	<p>・当別町の生活利便性を高めるため、JR札沼線（学園都市線）の利用者を増やし、高速化、増便を促進する必要がある。</p> <p>・石狩当別駅、石狩太美駅の交通拠点性を高めるとともに、コミュニティバスの継続的運行を確保し、高齢社会にも対応できる公共交通ネットワークの形成維持が必要である。</p>	<p>◎「当別町地域公共交通網形成計画」に基づき石狩当別駅、石狩太美駅の交通拠点性を高めるとともに、市街地と各地域を結ぶ公共交通の維持・確保が必要。</p> <p>◎JR札沼線（学園都市線）の高速化、増便などのサービスの強化により利用の促進が必要。</p> <p>◎廃止となる「北海道医療大学駅～石狩月形駅」間については、従来よりも利便性が向上した代替交通の確保が必要。</p> <p>◎石狩当別駅、石狩太美駅の高齢化社会等にも対応し、だれでも利用しやすい公共交通が必要。</p>
公園	<p>◎都市基幹公園1箇所、住区基幹公園8箇所、都市緑地2箇所が計画決定されているが整備率が4割程度にとどまっている。</p> <p>◎民間開発行為等に伴い小規模な公園が整備され、町に移管されている。</p> <p>◎各地域に閉校となった旧校舎がある。</p> <p>◎『当別町公園施設長寿命化計画』に基づく長寿命化事業の推進を図っている。</p>	<p>●公園・緑地の整備 （満足度が下回る項目） （重要度が高い項目） ・憩いの場、交流の場として活用される公園、緑地が整備されている。 →公園、緑地の整備促進が必要。</p>	<p>●幼児が遊べる施設 ・幼児が遊べる屋内施設や子育て中のお母さんが気軽に集える場所がゆとりしかない。</p> <p>・公園の遊具が整備されていなかったり、外で遊ぶ場所が少ない。</p> <p>●子どもが遊べる施設 ・公園には大きな子ども向けの遊具はあるが、小さな子ども向けの遊具のあるところが少ない。</p> <p>・子供が遊べる屋内施設があるとよい。</p> <p>・あいあい公園、遊遊公園はあるが歩いていける近所の小さな公園は遊具もなく遊ばせられない。</p> <p>●公園設備の充実 ・公園は阿蘇公園に新しい遊具ができてよいが、トイレが汚くて利用しづらい。</p> <p>・ライラック公園にも新しい遊具ができるが駐車場がない。</p> <p>●サイクリングロードの整備 ・サイクリングロードの整備をしてはどうか。ロードレースをするところがあるとよいのでは。</p>	<p>◎木や花、水、風などを活用し、子どもから高齢者まで町民が集まり、憩い、安心して楽しめる公園を、バランスを考えながら整備してほしい。</p>	<p>・豊かな自然を保全しつつ、町民の憩いの場として都市緑地の保全、活用を図る必要がある。</p> <p>・誘致距離を考慮しつつ、体系的に住区基幹公園を配置し、身近な憩いの場、交流の場として整備する必要がある。</p> <p>・本町周辺田園地域におけるレクリエーションやコミュニティ空間の創出が必要である。</p>	<p>◎緑地や河川緑地を適切に保全・管理することで、豊かな自然を取り入れた快適な都市空間の形成が必要である。</p> <p>◎計画決定公園の整備促進が必要である。</p> <p>◎身近な憩いの場、交流の場として、公園施設等の老朽化対策やバリアフリー化に取り組む必要がある。</p> <p>◎都市公園の集約化を図り、維持管理の効率化が必要である。</p> <p>◎本町周辺田園地域におけるレクリエーションやコミュニティ空間の創出が必要。</p> <p>◎旧校舎などの適正な維持管理が必要。</p>
河川	<p>◎市街地内の小河川としてパンケチュウベシナイ川が流れている。</p> <p>◎大規模な河川として石狩川、当別川が流れている。</p> <p>◎当別川には都市緑地が計画決定され、整備率は1/6程度に留まっている。</p>	<p>●河川の保全 （満足度が上回る項目） （重要度が高い項目） ・豊かな農村環境や森林、河川などの自然環境が保全されている →親水空間の整備が必要。</p>		<p>◎町内を流れる大きな河川や、市街地内を流れる小河川を活用し、自然を身近に感じられる憩いの場をつくるなど、子どもたちが遊べる川にしてほしい。</p>	<p>・大規模な河川における緑地空間を保全しつつ、自然豊かなレクリエーションや健康増進施設として整備する必要がある。</p> <p>・市街地内の小河川を活用し、身近な親水空間の創出、特徴的な住環境の創出を図る必要がある。</p>	<p>◎都市緑地の保全・管理により、豊かな自然を生じたレクリエーション空間の創出が必要。</p> <p>◎大規模な河川については、河川空間を保全しつつ、自然豊かなレクリエーションや健康増進施設として整備する必要がある。</p> <p>◎市街地内の小河川を活用し、身近な親水空間の創出を図る必要がある。</p>

	現況整理		町民意向調査		課題整理		
	都市計画上の現況		住民向けアンケート調査	グループインタビュー 子育て世代ヒアリング 大学生・まちづくり株式会社	町民意向	現行計画での課題	課題（見直し案）
農地・森林	<ul style="list-style-type: none"> ◎都市計画区域の97%は農業地域、森林地域に指定されている。 ◎ゴルフ場やスキー場などレクリエーション施設が整備されている。 ◎市街地の北部には豊かな森林地域が広がっており、一部では土石の採取や森林の伐採が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全（満足度が低い項目）（重要度が高い項目） <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かなレクリエーション空間、身近な親水空間として河川が整備されている。 →自然を身近に感じられる環境が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・空気がおいしく、自然にあふれた田舎ながらのよさを生かしたまちづくりをしてほしい。 ・天体観測所などの自然を生かした遊べる施設があれば、町の雰囲気合っていると思う。 ・空気がおいしく、自然にあふれた田舎ながらのよさを生かしたまちづくりをしてほしい。 ●自然環境の良さ <ul style="list-style-type: none"> ・当別は自然環境がよい。 ・自然環境が良くいいところだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎手つかずの森林や当別川の河畔林、川の水や当別特有の風、空気など、四季を感じられる豊かな自然を残すとともに、さらに磨きあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境を望ましい姿で未来に継承し、自然と調和した都市づくりを進める必要がある。 ・優良な農地や森林空間を活用し、町民をはじめ近隣市町村の住民を引きつけるレクリエーション空間の創出が必要である。 ・地球温暖化防止や国土の保全、美しい景観づくり、水源保全のため、森林伐採を伴う開発行為等の抑制により森林の保全を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎町民や近隣市町村の住民を引き付け更なるレクリエーション空間の創出が必要。 ◎地球温暖化防止や国土の保全、美しい景観づくり、水源保全のため、森林伐採を伴う開発行為等の抑制に取り組む必要がある。 ◎農地や森林の保全が必要。
上下水道	<ul style="list-style-type: none"> ◎上水の水源として当別ダム（平成24年10月）に完成。 ◎汚水処理については農業集落排水による集合処理区とみどり野の処理区を公共下水道に一元化した。 ◎処理区域外のし尿処理は石狩市へ事務委託している。 ◎『当別町下水道ストックマネジメント計画』（令和2年2月策定）に基づき適正な維持管理を図っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●上下水道の整備（満足度が上回る項目）（重要度が高い項目） <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な上水の確保及び公共下水道の整備がされている。 →水質保全、下水道施設の適切な維持管理が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎住宅が建った後も十分な水量が確保できるように安くて安心して飲める上水を確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたって安全な上水の水源を確保するとともに、配水施設の維持管理を進める必要がある。 ・排水区域の公共下水道整備を進めるとともに、土地利用計画と整合した汚水処理施設の整備が必要である。 ・老朽化した下水道施設の計画的な改築更新が必要である。 ・市街地内の未利用地の宅地化による雨水流出量の増大に対応した雨水排水施設の整備または流量の調整が必要である。 ・河川の水質保全を図るため、市街地外の生活排水の整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎将来にわたって安全な上水の水源を確保するとともに、配水施設の維持管理を進める必要がある。 ◎土地利用計画と整合した汚水処理施設の整備が必要である。 ◎老朽化した下水道施設の計画的な改築更新が必要である。 ◎市街地内の未利用地の宅地化による雨水流出量の増大に対応した雨水排水施設の整備または流量の調整が必要である。 ◎河川の水質保全を図るため、市街地外の生活排水の整備が必要である。
廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> ◎ゴミ排出量はゴミの有料化に伴い近年減少傾向にあり、分別収集が定着し、資源ゴミの回収によるリサイクルが行われている。 				<ul style="list-style-type: none"> ◎ゴミの減量化や適正な処理、リサイクルに取り組み、資源循環型の生活を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民や企業と協力して、廃棄物の減量化、資源リサイクルへの取り組みを進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎廃棄物の減量化、資源リサイクルへの取り組みを進める必要がある。
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ◎平成28年に持続可能で自立した循環型社会システムの構築を目指し「当別町再生可能エネルギー活用推進条例」を策定。 		<ul style="list-style-type: none"> ●自然エネルギーの活用（満足度が下回る項目）（重要度が高い項目） <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光、風力といった再生可能エネルギーの活用がされている。 →再生可能エネルギーの利活用の推進が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎省エネルギーや自然エネルギーの活用を行いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用の自然エネルギーの有効活用についての検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎持続可能な地域づくりを進めるため、木質バイオマスなど、本町の地域特性を活かした再生可能エネルギーの活用推進が必要。
街並み景観	<ul style="list-style-type: none"> ◎低層の建築物が多く、市街地の背景となる農地や森林が眺望できる。 ◎本町地域の商業地は、城下町らしい道路形態を残しており、特徴的である。 ◎丘陵地に位置するスウェーデンヒルズは、建築協定により統一感のある街なみを担保している。 ◎道路や河川沿いは、快適性に欠ける傾向がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ●良好なまちなみ・景観（満足度が下回る項目） <ul style="list-style-type: none"> ・樹木や花、歴史などを活用した当別らしいまちなみが形成されている。 ・戸建住宅の良好な居住環境がある。 →花や歴史などの当別町の特色を生かしたまちづくりが必要。 →統一感を感じられるまちなみの維持が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●街並み、看板の統一 <ul style="list-style-type: none"> ・当別町の歴史文化を伝える手段が貧弱であることから、看板の設置や街並みの統一をした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎市街地と自然地域に関わる景観基本計画など景観づくりのルールを定め、美しい田園都市をつくりたい。 ◎花、スウェーデン風、歴史など当別の個性を生かしながら、背景となる自然への眺望を守り、統一感が感じられ、当別をPRできる街なみづくりを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木や花を景観形成のモチーフとして積極的に活用し、当別町らしい街なみ景観の整備が必要である。 ・歴史的な情緒を感じさせる個性的な商店街の街なみづくりを進め、商店街のにぎわいを高める必要がある。 ・地域の住民が主体となって、住宅地の景観形成のルールをつくり、個性的な街なみの形成により住宅地の魅力向上を図る必要がある。 ・道路沿道や河川沿線の修景整備により快適性が高く、人が集まる良好な住環境を創出する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道路や河川などで景観整備を行うことで快適性を高める必要がある。 ◎スウェーデンヒルズの建築協定は世代交代による形骸化が懸念される。 ◎周辺環境と調和がとれた景観形成が必要である。 ◎歴史的な情緒を感じさせる個性的な商店街の景観づくりや、道路沿道や河川沿いの修景整備に取り組む必要がある。
自然景観	<ul style="list-style-type: none"> ◎都市の北西部に山林が形成されて、当別川の河口から源流に沿って変化に富んだ景観となっている。 ◎西部地域の耕地防風林が特徴的な景観を形成している。 		<ul style="list-style-type: none"> ●田園風景の維持（満足度が上回る項目）（重要度が高い項目） <ul style="list-style-type: none"> ・美しい田園風景が形成され維持されている。 →豊かな自然景観の維持が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎遠くまで見渡せる田園風景、紅葉の里、風にそよぐ防風林、川の景観など美しい風景を守り、自然と調和したまちづくりを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田園景観、森林景観を保全し、豊かな自然に囲まれた個性的な都市づくりを進める必要がある。 ・市街地周辺の農地や森林を活用したレクリエーション空間を創出し、生活の身近にある自然空間として保全・活用を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎田園景観、森林景観を保全し、豊かな自然に囲まれた個性的な都市づくりを進める必要がある。 ◎市街地周辺の農地や森林を活用したレクリエーション空間を創出し、生活の身近にある自然空間として保全・活用を図る必要がある。
環境美化	<ul style="list-style-type: none"> ◎ゴミの不法投棄が町内の随所で行われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●環境の美化（満足度が上回る項目）（重要度が高い項目） <ul style="list-style-type: none"> ・町民、町内会、行政が協力して、ゴミが落ちていないなどの環境美化がされている。 →環境美化の維持が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎道路やゴミステーション周辺の清掃活動を充実し、ゴミが落ちていないきれいなまちにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民、町内会、行政が協力して、環境美化を進める必要がある。 ・不法投棄をなくすための啓発、監視を徹底する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎不法投棄をなくすための啓発、監視を徹底など、町民、町内会、行政が協力して、環境美化を進める必要がある。

	現況整理	町民意向調査			課題整理	
	都市計画上の現況	住民向けアンケート調査	グループインタビュー 子育て世代ヒアリング 大学生・まちづくり株式会社	町民意向	現行計画での課題	課題（見直し案）
防災	<p>◎市街地内では商業地域・近隣商業地域32haを準防火地域に指定しているほか、他の用途地域には建築基準法の22条区域（屋根、外壁の不燃化）を指定している。</p> <p>◎開拓以来、石狩川や当別川の氾濫による水害が発生していたが築堤の整備により、外水の氾濫による被害は減少した。一方、都市化の進展により内水滞留による水害のリスクが高まっている。</p> <p>◎有数の豪雪地帯であり、石狩川から吹き込む冬の季節風により吹雪となることが多い。</p> <p>◎地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流などがあり、北海道では順次基礎調査を行い土砂災害警戒区域等の指定を行っている。</p>	<p>●安全なまちの形成 （満足度が下回る項目） （重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震災害、風水害、火災に対して安全なまちが形成されていること。 →安心して暮らせる、災害に強いまちづくりが必要。 	<p>●多様な災害情報手段</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災の時、町からの正確な情報を得ることが難しかった。公式のラインアカウントやインスタグラムなど、若者向けの情報発信も必要なのではないか。 ●避難訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> 実際に災害が発生した時、中心となる町職員の経験不足が考えられる。訓練等でいつ起こってもいいように備えておくべき。 ●通学の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> 冬季の危機管理など、子どもが安全に通学することができる環境づくりが大切だと思う。 	<p>◎防犯灯の設置や交通事故の防止、犯罪の防止などにより、安心して外出できる安全なまちづくりをしてほしい。</p> <p>◎災害情報について、多様な手段で伝達を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 木造家屋の密集地区においては、防災建造物への建替促進を図るなど災害に強い都市づくりを進める必要がある。 震災に強い都市づくりを推進するため建物の耐震化を進める必要がある。 市街地の土地利用と整合した雨水排水施設の計画的な整備また流量の調整が必要である。 雪害に対応するため防風林の保全や道路防雪林や防雪柵の整備など雪害対策が必要である。 森林の持つ国土の保全、水源かん養、自然災害の防止など多様な機能を発揮するため、適正な森林整備を推進し、土砂災害等の予防が必要である。 防災ネットワークや防災情報システムの構築を図る必要がある。 	<p>◎木造家屋の密集地区においては、防災建造物への建替促進を図るなど災害に強い都市づくりを進める必要がある。</p> <p>◎震災に強い都市づくりを推進するため建物の耐震化を進める必要がある。</p> <p>◎適正な森林整備の推進による土砂災害等の防止対策、防風林の保全や道路防雪林や防雪柵の整備などによる雪害対策、雨水排水施設の計画的な整備また流量の調整による水害対策を進める必要がある。</p> <p>◎災害時に安全かつ迅速な避難、誘導を行うため、防災ネットワークや防災情報システムの構築とともに、避難路や避難場所の確保が必要。</p>
防犯		<p>●防犯の整備 （満足度が下回る項目） （重要度が高い項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯体制や防犯設備が整備され、安心して暮らしていけること →街灯の整備が必要。 	<p>●防犯等の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな路地等の街灯が少なく、夜になると怖い。 	<p>◎防犯設備の整備が必要。</p>	<p>◎交通事故や防犯の防止対策が必要。</p>	

※住民向けアンケート調査 : 2018年の立地適正化計画策定時に実施
グループインタビュー : 2019年の第6次総合計画策定時に実施
子育て世代ヒアリング : 2019年の立地適正化計画策定時に実施
大学生・まちづくり株式会社 : 2019年の立地適正化計画策定時に実施